

令和4年度 グループホームひまわり事業報告

グループホームひまわりでは『利用者一人一人がその人らしく生活する』ために入居者の尊厳を守り、適切な環境を整え、適切な関わりを持つことを常に意識することでケアの質の向上に努めた。また、地域の方々からの問い合わせや相談が増加するなか、期待に応えられるよう「地域に密着した社会資源」を目指して、事業の推進を図った。

1 入居状況について

| | |
|--------------|-------|
| 入居者定員(2ユニット) | 18名 |
| 利用率 | 96.0% |
| 平均年齢 | 89.7歳 |
| 平均在籍日数 | 2年3か月 |

| | |
|-------|-----|
| 退去者 | 7名 |
| 新規入居者 | 7名 |
| 待機者 | 26名 |

2 運営の基本方針実施状況

認知症ケアに関する勉強会やOJTを通して、認知症ケアスタッフとしての専門性向上に努めた。BPSD（行動・心理症状）の対応だけではなく、ご利用者を取り巻く様々な環境を整え、なじみの関係を作ることで意欲や能力を引き出すことを追求した。その結果、BPSDの軽減や退院後の機能回復が見られ、ご家族との信頼関係の構築にも繋がった。

3 地域密着型サービスの重点事項

(1) 地域との協働と社会貢献

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、運営推進会議を開催することができな**かったが**、運営状況等を2ヶ月に1回、杉並区と地域包括支援セン

ター職員へ報告した。来年度は4月より、感染症予防対策を図りながら2か月に1回通常開催を予定している。また、地域の行事や小学校行事なども参加できず、計画していた「ひまわりカフェ」も開催できなかったが、来年度も状況を見ながら計画したいと考えている。

(2) 利用者中心のサービスの提供

①感染症対策により外出制限があるため、日課である体操やボール体操などの内容を見直しながら継続し、天候不良時以外はできるだけ6階のテラスを散歩し、感染者が減少している時期には園庭への散歩を積極的にすることで、気分転換や、脚力の低下予防を図るように努めた。また、6階テラスでできる行事として、ミニ縁日や神社を準備して初詣など屋外行事も開催した。

②テラスでの園芸活動では1年間通して花を観賞できるように種まきや植え替えを計画し、野菜の植え付け作業から成長過程の水や肥料やりも楽しみ、収穫して料理して美味しく頂くところまで行いご利用者の楽しみとなった。

③ご利用者一人ひとりの『ひまわり新聞』は今年度も継続し、毎月ご家族へ送付した。日常生活やレクリエーション活動の様子がわかる写真や、居室担当スタッフからご利用者の最近のご様子を書いたメッセージを盛り込む事で、ご家族から好評をいただいている。また、短時間ではあるが1階面会室での面会を開始し、面会回数もできるだけご家族が多く面会に来られるように日時の調整をおこなった。パーテーション越しではあるが対面できることで、ご利用者の笑顔が増え、ご家族に少しでも安心感をもっていただける機会になった。

(3) 専門職の連携を活かした職場づくり

ケアワーカーと医療連携看護師が共有できるフォルダを会内ネットワーク上に作り、1週間毎にご利用者の状況を報告するシステムを継続している。新型コロナウイルス・インフルエンザのワクチン接種については、受診（外出）時の感染の予防を図るため、浴風会病院の医師・看護師が来園してホームで行えるような体制がとれた。

(4) 安定的経営基盤の確保

事業運営の目標を年間平均利用率98%に設定し、円滑に入退去が行われるよう多職種とも連携を図るも、長期間の入院が数名あり平均利用率は96.0%

にとどまった。

4 楽しい食事への取り組み

食事作りは個別の状況に合わせた環境を整え、感染症対策を行った上で可能な限りご利用者主体に行っていたいただけるよう取り組んだ。また、昔ながらのらっきょう作りや味噌作りなどを行い、夏は菜園で収穫できた野菜で食卓を彩った。さらに、誕生日には出前やおやつ作り等で楽しみを増やせるように努めた。

5 感染症・健康管理

- ①健康管理では、看護師や薬局との連携体制が継続し、ご利用者の体調に関する情報共有が図れており、病院への受診や状態報告・連絡・相談がスムーズに行えている。
- ②感染症防止策として、マスク着用・手洗い・手指消毒の徹底を図った。ダイニングでは飛沫防止プレートの設置と定期的な換気を行い、1日2回、ホーム内の廊下の手すり・スイッチ・机・椅子などの共用部分の消毒をご利用者と一緒に行いながら徹底した。
- ③7月、8月、9月に新型コロナウイルスにご利用者1名、スタッフ3名が感染したが、感染が拡大することはなかった。また、その他の感染症も発生しなかった。引き続き感染予防を徹底していく。

6 会議・研修・担当について

【研修】

認知症ケアに関する知識・技術の習得を目的とした研修会や、法人研修企画部のキャリアパス研修等、開催時には積極的に参加し、スタッフが同じ視点でケアが行えるよう努めた。また、リモート研修会への参加や、資料配布研修を行い、知識・技術を実際のケアに活かせるように努めている。今年度は認知症介護実践者研修に1名参加することができた。

【担当・行事】

各ユニットの担当が毎月季節の行事や誕生会を企画し実施した。昨年度同様密を防止するため2ユニット合同での行事を中止し、ユニット単位や少人数で活動を行った。また、毎月「お楽しみ日」として行事食やデザート作り以外に

も運動会や書道、ゲーム大会、ものづくりなどを企画し楽しみの場を増やすようにし、ご利用者からご好評いただいた。

7 フロア目標の取り組み・成果

目標 1：計画的に研修を行い、認知症及び認知症ケアについての理解を深め、ご利用者の支援を実施します

(成果) 認知症に関する研修や感染症予防対策、高齢者虐待防止等研修を職員研修で受講し、配布研修や ZOOM 研修等も行いご利用者の支援に役立てられるよう努めた。

目標 2：ご利用者個々に合わせて、余暇活動や季節の行事を企画し実施します

(成果) 各ユニットでの通常での行事の他、「お楽しみ日」を活用し、ご利用者の希望に沿ったレクリエーションを計画し実施することができた。

8 主要行事等の実施状況について

(1) クラブ活動実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアによるクラブ活動は今年度も実施することができなかった。

(2) 主要行事実施状況

(別紙 2) のとおり実施した。

苦情申立ての状況

今年度、当ホームに対する苦情の申立はなかった。